



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成28年11月25日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,536	20.3	31	—	9	—	△30	—
28年3月期第2四半期	10,418	△3.4	△117	—	△121	—	△103	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △56百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △132百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△0.89	—
28年3月期第2四半期	△3.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,366	—	2,237	—	—	7.8
28年3月期	12,707	—	2,402	—	—	8.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 958百万円 28年3月期 1,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	12.2	360	36.3	340	37.3	180	193.0	5.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	34,497,058 株	28年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	456,866 株	28年3月期	456,866 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	34,040,192 株	28年3月期2Q	34,481,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算説明会の資料及び内容は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府による継続的な経済政策及び日銀による金融緩和により、企業収益や雇用環境の改善は見られるものの、為替、株価、新興国経済の減速などに伴い、依然として先行きの不透明感が継続しております。

当社グループでは、M&Aの積極推進により事業規模拡大を目指しており、前期において和装宝飾事業及び卸売事業で新たな連結子会社を加えましたが、当四半期においては卸売事業でイエリデザインプロダクツ株式会社より横ニット企画販売部門の事業を譲り受け、業容の拡大を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、新規子会社の寄与もあり、売上高は125億36百万円（前年同四半期比20.3%増）、営業利益は31百万円（前年同四半期は営業損失1億17百万円）、経常利益9百万円（前年同四半期は経常損失1億21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億3百万円）となりました。

当社グループのセグメントの業績は、以下のとおりであります。

## 1) 「美容事業」

美容事業におきましては、競合店の増加・飽和状態が続く厳しい事業環境下で、当四半期において不採算店舗10店舗の閉鎖を実施し、人財配置を見直すほか、DM等販促活動の効率化を実施いたしました。なお、平成28年9月30日現在の店舗数は、直営92店舗、FCは5店舗となっております。

店舗数減等による影響もあり売上高は10億97百万円（前年同四半期比7.1%減）となりましたが、人員数は前年並みを確保したため人件費比率が増加し、セグメント損失は4百万円（前年同四半期はセグメント利益11百万円）となりました。今後は、人財確保が図られた既存店において生産性を向上させるため、前下期に設置した研修センターでのスタッフ研修・教育を強化し、スタッフの技術力の向上、接客サービスレベルの向上に努めてまいります。

## 2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業におきましては、中国地方に1店舗、関東地方に1店舗の新規出店を実施いたしました。新規店舗では、ドミナント戦略による収益強化を図るとともに、ウィンター商品販売への偏重を是正し、新たな収益モデルの構築を図るため、通年型商品販売の強化を目指しております。なお、平成28年9月30日現在の店舗数は1店舗の閉鎖もあり17店舗となっております。

売上高は、アウトドア及びH&B（ヘルスアンドビューティ）販売は前年同期比105%超と堅調であったものの、ウェア販売が前年同期比93.5%、ダイビング商品販売が前年同期比88.7%と伸び悩みました。その結果、売上高は14億88百万円（前年同四半期比1.4%減）となり、セグメント損失は1億30百万円（前年同四半期はセグメント損失1億45百万円）となりました。

## 3) 「DSM事業」

DSM事業におきましては、平成28年9月30日現在の店舗数は前年同四半期の78店舗から5店舗減の73店舗となり、販売員の減少により売上高が減少しております。一方で、当四半期においてはセイビング会員の休眠顧客に対する掘り起し活動を推進し、販売強化に努めてまいりました。その結果、DSM事業の売上高は12億7百万円（前年同四半期比6.8%減）となり、セグメント利益は21百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

## 4) 「和装宝飾事業」

和装宝飾事業におきましては、前期新たに子会社化した株式会社すずきの業績が順調に推移し、売上高は53億33百万円（前年同四半期比66.8%増）、セグメント利益は1億87百万円（前年同四半期比167.8%増）と、大幅な増収増益となりました。

和装等小売事業では、M&A戦略による増収増益効果のみならず、既存店舗においても売上高は前年同四半期比で102.2%と堅調に推移しておりますが、新規顧客獲得・固定顧客の安定化を図り、更なる収益拡大を目指すため、1店舗の新規出店、4店舗の移転・改装を実施いたしました。

なお、宝飾小売店舗では3店舗閉鎖を実施しており、平成28年9月30日現在の店舗数は、和装等小売店舗が99店舗、宝飾小売店舗が17店舗となっております。

## 5) 「卸売事業」

卸売事業におきましては、前期事業譲受した株式会社吉利が寄与したことにより、売上高は30億54百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。また利益面につきましてもM&Aによる寄与のほか、既存卸売事業において売上総利益率の改善や販売管理費の効率化を図ることで利益の向上に努めたことにより、セグメント損失12百万円（前年同四半期はセグメント損失82百万円）となりました。

6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠擦糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、3億55百万円（前年同四半期比0.9%減）となり、セグメント利益4百万円（前年同四半期はセグメント損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億40百万円減少し123億66百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億73百万円減少、受取手形及び売掛金が1億42百万円減少、電子記録債権が54百万円減少、商品及び製品が2億47百万円増加、敷金及び保証金が2億9百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億74百万円減少し101億29百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金が85百万円増加、短期借入金が1億2百万円減少、未払法人税等が38百万円減少、長期借入金が98百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少し22億37百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金30百万円の減少、剰余金の配当68百万円、非支配株主持分54百万円の減少によるものです。

第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が2百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ1億91百万円増加し12億55百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億43百万円（前年同四半期は2億66百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失2百万円に対し、売上債権の減少額1億78百万円、棚卸資産の増加額2億33百万円、仕入債務の増加額1億48百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、46百万円（前年同四半期は1億85百万円の支出）となりました。

これは主に、事業譲受による支出60百万円、有形固定資産の取得による支出45百万円、敷金及び保証金の差入による支出32百万円、差入保証金の回収による収入2億6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、3億53百万円（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の減少額1億2百万円、長期借入れによる収入1億33百万円、長期借入金の返済による支出2億33百万円、配当金の支払額67百万円、非支配株主への配当金の支払額40百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、前回（平成28年5月13日付「平成28年3月期 決算短信」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,917,381	1,743,994
受取手形及び売掛金	2,701,598	2,559,090
電子記録債権	169,360	115,231
商品及び製品	3,666,911	3,914,897
仕掛品	14,290	15,152
原材料及び貯蔵品	56,407	89,732
繰延税金資産	29,009	29,009
その他	339,206	373,513
貸倒引当金	△43,185	△43,826
流動資産合計	8,850,981	8,796,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,906,066	1,917,882
減価償却累計額	△1,339,802	△1,339,448
建物及び構築物(純額)	566,264	578,434
機械装置及び運搬具	13,873	13,873
減価償却累計額	△13,451	△13,484
機械装置及び運搬具(純額)	422	388
工具、器具及び備品	450,296	436,629
減価償却累計額	△403,767	△389,224
工具、器具及び備品(純額)	46,529	47,405
土地	743,633	743,633
リース資産	81,160	82,008
減価償却累計額	△39,963	△47,678
リース資産(純額)	41,197	34,329
有形固定資産合計	1,398,046	1,404,191
無形固定資産		
のれん	237,919	209,785
その他	115,223	102,644
無形固定資産合計	353,142	312,430
投資その他の資産		
投資有価証券	161,051	152,245
長期貸付金	27,682	12,657
繰延税金資産	92,544	90,992
敷金及び保証金	1,591,276	1,381,403
その他	322,817	299,627
貸倒引当金	△90,539	△83,540
投資その他の資産合計	2,104,832	1,853,384
固定資産合計	3,856,021	3,570,006
資産合計	12,707,003	12,366,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,797,134	2,882,698
電子記録債務	495,282	534,974
短期借入金	584,800	482,000
1年内償還予定の社債	36,400	36,400
1年内返済予定の長期借入金	440,444	438,960
未払金	673,339	639,909
前受金	1,829,343	1,817,973
未払法人税等	78,557	40,128
賞与引当金	78,557	80,908
返品調整引当金	29,905	28,598
ポイント引当金	52,008	51,941
株主優待引当金	4,321	4,321
資産除去債務	17,430	3,592
その他	419,689	466,217
流動負債合計	7,537,215	7,508,623
固定負債		
社債	110,200	92,000
長期借入金	2,011,190	1,912,360
長期末払金	175,687	171,217
繰延税金負債	34,616	31,783
資産除去債務	327,910	325,938
その他	107,384	87,359
固定負債合計	2,766,989	2,620,658
負債合計	10,304,204	10,129,282
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	999,153	900,696
自己株式	△53,008	△53,008
株主資本合計	1,046,145	947,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,079	8,532
為替換算調整勘定	10,935	2,305
その他の包括利益累計額合計	23,015	10,837
非支配株主持分	1,333,638	1,278,994
純資産合計	2,402,798	2,237,520
負債純資産合計	12,707,003	12,366,802



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,418,321	12,536,765
売上原価	6,107,929	6,894,938
売上総利益	4,310,392	5,641,827
販売費及び一般管理費	4,427,427	5,610,740
営業利益又は営業損失(△)	△117,035	31,087
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,578	3,585
受取地代家賃	6,347	6,576
助成金収入	250	9,113
協賛金収入	5,589	5,351
その他	18,728	15,088
営業外収益合計	34,493	39,715
営業外費用		
支払利息	22,667	18,804
手形売却損	1,014	820
前受金復活損失	1,772	24,512
その他	13,831	17,249
営業外費用合計	39,285	61,386
経常利益又は経常損失(△)	△121,827	9,416
特別利益		
投資有価証券売却益	2,207	-
事業譲渡益	7,890	-
特別利益合計	10,098	-
特別損失		
固定資産除却損	1,547	98
減損損失	967	907
店舗閉鎖損失	3,667	11,217
特別損失合計	6,182	12,224
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,911	△2,807
法人税、住民税及び事業税	28,300	30,412
法人税等調整額	△74	1,547
法人税等合計	28,226	31,960
四半期純損失(△)	△146,137	△34,767
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,465	△4,374
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,672	△30,392

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△146,137	△34,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,762	△6,372
為替換算調整勘定	1,857	△15,455
その他の包括利益合計	13,620	△21,828
四半期包括利益	△132,517	△56,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,766	△42,571
非支配株主に係る四半期包括利益	△36,751	△14,024

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,911	△2,807
減価償却費	69,219	73,615
減損損失	967	907
のれん償却額	5,334	28,133
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,029	△1,307
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,070	2,350
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,741	△67
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67,312	△6,357
受取利息及び受取配当金	△3,578	△3,585
支払利息	22,667	18,804
手形売却損	1,014	820
有形固定資産除却損	1,547	98
事業譲渡損益(△は益)	△5,039	-
売上債権の増減額(△は増加)	279,499	178,341
たな卸資産の増減額(△は増加)	△168,892	△233,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,701	148,457
前受金の増減額(△は減少)	17,727	△10,467
その他	△118,097	31,606
小計	△204,397	224,580
利息及び配当金の受取額	2,129	3,569
利息の支払額	△9,292	△15,926
手形売却に伴う支払額	△1,014	△820
法人税等の支払額	△53,761	△68,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,336	143,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	-	800
有形固定資産の取得による支出	△60,408	△45,155
無形固定資産の取得による支出	△1,050	△10,261
投資有価証券の取得による支出	△741	△771
投資有価証券の売却による収入	4,560	-
事業譲渡による収入	38,870	-
事業譲受による支出	△200,010	△60,000
貸付けによる支出	△2,726	△90
貸付金の回収による収入	2,401	2,477
敷金及び保証金の差入による支出	△10,245	△32,963
差入保証金の回収による収入	51,553	206,994
その他	△7,393	△14,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,189	46,444

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	213,500	△102,800
長期借入れによる収入	-	133,600
長期借入金の返済による支出	△81,900	△233,914
社債の償還による支出	-	△18,200
配当金の支払額	△67,879	△67,354
非支配株主への配当金の支払額	△40,539	△40,524
子会社の自己株式の取得による支出	△344	-
その他	△27,317	△24,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,480	△353,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	179	△8,881
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△455,827	△172,568
現金及び現金同等物の期首残高	1,520,071	1,427,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064,244	1,255,244

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月15日 取締役会	普通株式	68,962	2.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	68,080	2.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,181,238	1,509,806	1,295,073	3,197,261	2,876,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	41,352
計	1,181,238	1,509,806	1,295,073	3,197,261	2,917,761
セグメント利益又は損失(△)	11,406	△145,754	24,339	69,829	△82,116

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	10,059,789	358,531	10,418,321	—	10,418,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,352	22,389	63,741	△63,741	—
計	10,101,141	380,920	10,482,062	△63,741	10,418,321
セグメント利益又は損失(△)	△122,296	△944	△123,240	6,204	△117,035

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額6,204千円には、セグメント間取引消去4,477千円、各報告セグメントに配分していない全社費用4,429千円及び棚卸資産の調整額△2,702千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	967	—	—	—	967

(のれんの金額の重要な変動)

企業結合会計基準等の適用により、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが105,850千円減少しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,097,724	1,488,728	1,207,078	5,333,734	3,054,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	—	—	—	69,744
計	1,097,758	1,488,728	1,207,078	5,333,734	3,123,853
セグメント利益又は損失(△)	△4,482	△130,919	21,971	187,023	△12,183

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	12,181,373	355,392	12,536,765	—	12,536,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,779	20,338	90,118	△90,118	—
計	12,251,153	375,731	12,626,884	△90,118	12,536,765
セグメント利益又は損失(△)	61,409	4,173	65,582	△34,495	31,087

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△34,495千円には、セグメント間取引消去4,477千円、のれんの償却額△22,799千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,976千円及び棚卸資産の調整額△4,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	907	—	—	—	—	—	—	907